

昨年度(令和元年度)の授業改善プランの検証 現3年(旧2年)

	成果	課題	改善策
国語	<p>◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する力が伸びた。</p> <p>◎文章の書くときには、書いた後に推敲する時間を取ることにより、間違いを正し、文や文章を整える力が伸びた。</p>	<p>▼話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと の中心を捉え友達や先生の話聞く力が十分でない。</p> <p>▼文章構成を考えて書くことに課題がある児童が多い。</p> <p>▼漢字の読みも書きも正答率が低く、個人差が大きい。</p>	<p>★話を聞く時に話す人の方を向くことを徹底し、聞く姿勢を身に付けさせる。</p> <p>★聞き手を意識して話す順序を考えたり、文章に表したりするなどして、聞き手に分かるように話すことができるようにする。</p> <p>★書こうとすることの中心を考え、段落相互の関係に注意して文章を書くことができるよう指導する。「はじめ・中・終わり」の文章構成を意識して書くことができるようにする。</p> <p>★毎日の漢字学習、週1回の漢字小テストを実施し、繰り返し書くことで定着を図る。</p>
社会	<p>◎東西南北を意識して方角意識を高め、地図に関心をもつことができた。</p> <p>◎地図記号に興味をもち、地図記号に慣れ親しむことができた。</p>	<p>▼資料を読み取ったり、分かりやすく整理してまとめたりする力が十分とはいえない。</p> <p>▼ 資料や調査を基に、課題をもつことが十分とはいえない。</p> <p>▼ 複数の資料から読み取った事実を関連付けるなどして、自分なりの考えをもつ力が十分ではない。 聞いたり調べたりした内容をもとに、思考して判断する力が十分とはいえない</p>	<p>★今後も継続して、「つかむ」「調べる」「まとめる」という学習の段階と学習のめあてを明示する。</p> <p>★写真、図、表などを児童用にも配布して、関連付けて思考判断できるようにする。</p> <p>★ワークシート、新聞の型式を工夫して、多様な表現の方法が身に付くようにする。</p>
算数	<p>◎学習していることが生活場面でどのように生かせるのか考えさせることで、興味関心を高めることができた。</p> <p>◎授業で学習したところを家庭学習(計算ドリル)</p>	<p>▼問題を解いた後に見直しをしないため、簡単なミスをしてしまう。</p>	<p>★見直しをするように声をかける。</p> <p>★問題を解き終わった後、ペアで確認する時間を設ける。</p> <p>★見直しをすることの良さを実感させる。</p>

	で取り組ませることによって、基礎基本が身に付いてきた。	▼文章問題の読解力が低い。 ▼コンパスを使って、正確に作図ができない。	★普段の授業で、文章問題の読み方や解き方を線分図、数直線等を活用して丁寧に指導する。 ★数学的活動を重視して、模様づくりに取り組み、コンパスを使う機会を増やす。
理科	◎実験や観察などに使用する器具の使い方を動画で確認し、実際に全員が触ることで使い方について知識を身に付けることができた。 ◎問題→予想→観察・実験→結果→考えたこと→分かったことの学習過程を児童も理解し、授業を進めることができた。 ◎動植物や昆虫などに実際にふれあう機会を増やしてきたことで、身の回りの自然事象や実験について、進んで学習に取り組む児童が増えた。	▼学習した用語や器具の使い方などに興味をもって学習に取り組んだが、知識として定着させられていない。 ▼観察や実験は主体的に取り組んでいる児童が多く見られたが、考えたことをまとめる学習では、手が止まる児童が多く、結果から考えたことを書く力を身に付けさせる必要がある。	★導入時に、科学的事象が実感できる体験的な活動を行うなど関心や意欲を高め、児童の問題意識を大切に学習活動を重視する。 ★学んだことを生活との関わりの中で見直し、実感の伴う学習活動を展開する。 ★教科書に出てくる用語を使って、その課題のまとめを行い、知識・理解へと結び付ける。
音楽	◎常時活動として毎時間の最初に身近な音楽を聴く鑑賞の学習を取り入れることで音楽を聴いて言葉で表現することに苦手意識をもつ児童が少なくなった。 ◎旋律の特徴を音楽の要素や曲想、旋律の特徴と自分の気持ちを結びつけて言葉や音楽で表現することができるようになってきた。 ◎旋律の上がり下がりを意識させるために動作化を行うことで、意識しながら表現することができた。	▼音楽を聴いて言葉で表現する活動を常時取り入れたことで、箇条書きでの表現はできる児童は増えたが、文章での表現が難しい児童も多い。また、書くことの焦点を見極めることが難しい児童が多い。 ▼旋律の上がり下がりを意識させるために動作化を行うことで、意識しながら表現することができたが、教師の模範を真似することは出来るが、自分で旋律や曲想を体で表現することが難しい児童もいる。	★表現してほしいことの焦点を提示し、文章で表現できるようカードを用いて指導していく。 ★児童の中から動作化をすることが出来る児童に模範を行ってもらおう。また、動作化の活動機会を増やすことで多くの児童ができるようにしていく。
図工	(感染症対策のため、グループワークによる授業		

	<p>改善は行わなかった。)</p> <p>◎作品の制作途中で、ミニ鑑賞会を取り入れ、友達の作品で参考にしたい良い部分を見つけたり、自分の今までの活動の振り返りを行ったりすることで、新たに自分の表現活動に生かすことが出来た。</p>	<p>▼児童によっては、友達の色や形の良いところに注目することが難しかったり、自分の活動をふりかえることができなかつたりした。</p>	<p>★ワークシートに記入するミニ鑑賞会に限らず、お互いの活動や作品を見る機会を増やすことから、様々な工夫について検討し、取り入れられるようにしたい。</p>
<p>体育</p>	<p>◎ 運動能力の個人差に対応するために手立てを用意したことで、成功体験を積み重ね意欲的に運動に取り組む児童が増えた。</p> <p>◎ 全員が楽しめるように規則の工夫をしたり、児童同士で運動を見合ったりできるように1単位時間を工夫したことで、ほとんどの児童が運動を楽しむことができた。</p> <p>◎運動への関心は高く、進んで学習に取り組む児童が多い。</p>	<p>▼ 運動技能の習得には、個人差があり、特に発展的な学習の場が不十分な場合がある。</p> <p>▼学習のふりかえりをする際に、自分の言葉で表現することが苦手な児童もいる。また、児童同士で運動を見合い、励まし合うことが難しい児童もいる。</p> <p>▼学習内容(器械運動領域)によって関心の差がある。勝敗を素直に受け入れられない児童がいる。</p>	<p>★児童のつまずきに対する場を準備して、課題解決の時間を十分確保する。運動のポイントを意識した指導や助言をする。また、必要であれば掲示物を用意し、児童が自分でポイントを確認できるようにする。</p> <p>★毎時間シェアリングの時間を設け、友達の考えを聞いて新しい動きに挑戦したり、ポイントを意識して取り組んだりする時間を設定する。</p>